

定例教育委員会資料
令和元年5月27日
文化財課
電話 20-3367 (内線 5135)

## ゴールデンウィーク中の史跡鳥取城跡（久松公園）内での文化財等の毀損について

令和元年5月1日～5月6日の連休中に、史跡鳥取城跡（久松公園）内で、下記のような文化財等の毀損が生じたので、内容と対応について報告します。

1. 毀損のあった場所　二ノ丸跡下段（右膳丸跡）　澤市場屋の古墳墓
2. 毀損の状況



5月3日朝、市役所に通報があったため、文化財課職員が確認。都市環境課にも連絡し、指定管理者も現地を確認した。常夜灯が押し倒され、後方の墓石（五輪塔）もバラバラにされている。石材に割れ等は見られない。利用者に危険が及ぶ状態ではないことから、いったん石材をとりまとめて現状を維持し、バリケードを設置した。

澤市場屋の墓は江戸時代には現地に所在し、子孫である小澤家が参拝を許されていた。弘化年間に二ノ丸が拡張された際、現在の形に整備されたことが文献で判明し、また、石造物の一部は慶応の紀年がある。五輪塔は江戸時代以前に遡る可能性もある。常夜灯は近代に入り、史跡指定までの間に設置されたものである。

5月2日の夕刻以降3日の早朝に毀損されたものと考えられる。

3. 今後の対応

五輪塔群については鳥取城存続時代から現地に存在したもので、史跡の構成要素であることから、文化庁に毀損届を提出し、市において復旧する（旧状を確認して本市の文化財専門

員が再設置)。近代の設置に係る常夜灯については、鳥取市に在住される澤市場屋のご子孫の意見も聴取したが、史跡と無関係な構造物であることが明確なため、安全性の確保と文化財の保護のために今回撤去することとした。

石材の割れなどは見られず、組立て可能なことから、警察への被害届の提出は行っていない。

利用者の多い場所であり、市からも注意喚起の表示などを行い、再発防止に努める。

### 【位置図】

